



Mogami Region Vacant House Utilization Forum

最上地域空き家活用 フォーラム

地域の未来を考える

ライフスタイルと

新しい



令和7年

12月1日 月 ご自由にご参加ください 参加無料

14:00～（開場 13:30～）／定員100名

開催場所／新庄市民文化会館小ホール
（新庄市堀端町4番67号）

新型コロナウイルス感染症を契機に、働き方、暮らし方、住まい方が大きく変わろうとしています。テレワーク等の普及により、地方での豊かな自然や生活環境に生活しながら、都市との関わりを持つ二地域居住など、新たなライフスタイルの拡大により地方への人の流れが生まれ、地域活性化が期待されます。

最上地域の豊かな自然や特色を活かした移住や二地域居住、災害時の避難住宅など、様々な空き家活用の可能性を模索しながら、地域の未来を考えてみませんか。

【詳細は裏面へ】



共催：山形県、一般社団法人温故知新、最上地域空き家活用促進協議会

後援：国土交通省東北地方整備局、新庄市、金山町、最上町、舟形町、真室川町、大蔵村、鮭川村、戸沢村



最上地域空き家活用フォーラム



講演1

空き家を活用した 移住等の事例紹介



赤倉編集室代表／
une管理人／
最上町議会議員／
最上暮らしパートナー

山崎 香菜子氏

移住希望者等のサポートを実践されてきた中で感じた移住・二地域居住に空き家を活用する有効性や空き家活用の事例などをご紹介します。

【プロフィール】

1983年宮城県白石市出身。2007年多摩美術大学を卒業後、編集プロダクション、タウン誌の編集を経て、編集による地域活性を目指し、2009年から埼玉県鶴ヶ島市農業コーディネーターとして農業活性に携わる。2011年の東日本大震災を機に東北へ戻ることを決意。2012年から3年間東北芸術工科大学勤務し、任期終了後は田宮印刷株式会社で印刷物の企画編集を担当。2017年、結婚相手の住む最上町に移住し同時に最上町地域おこし協力隊に着任。2021年11月に地域編集の拠点である赤倉編集室を立ち上げ、2022年4月に地域編集の拠点となる複合交流施設une(うね)を赤倉温泉にオープンさせた。2023年9月より最上町議会議員1期目。

講演2

『ふるさと住民登録制度』の 目的と効果的な活用法

総務省 地域力創造グループ 地域政策課 主査

高橋 理子氏

今年度創設が決定された『ふるさと住民登録制度』について、制度の目的の説明や期待される効果、全国の先進事例などをご紹介します。

【プロフィール】

宮城県出身。2021年総務省入省、栃木県庁、内閣官房内閣人事局、総務省自治行政局国際室での勤務を経て、2025年4月より現職。

※『ふるさと住民登録制度』とは、実際にその地域に居住していなくても住民として登録することで、地域の情報や行政サービスなどを受けられる制度です。

活動報告

最上地域における空き家対策 エリアマネージャーの取り組み

一般社団法人 温故知新

八鍬 淳氏

最上地域空き家活用促進協議会発足から現在の取り組みと今後の展望を報告します。

タイムスケジュール

14:00 開会・挨拶

14:10 講演1

14:50 講演2

15:30 活動報告

16:00 閉会



お問い合わせ先



山形県最上総合支庁建設部建築課

〒999-0002 山形県新庄市金沢大道上2034 / TEL 0233-29-1418 / MAIL ymogamikenchiku@pref.yamagata.jp



メールはこちら